

オースト学校等の防音装置工事の問題が、出されておりますが、これらについて、更張昨年の状況について、いも、と、促進するためには、私も、も、わ、になつて、防衛庁の方に行つて、お願ひしたい、と、いふことを、町長に話したんですが、うう、こゝを、すると、本年あり、は、来年度の当初には、必ず、さ、る、んだから、か、え、つ、つ、わ、れ、い、し、する、から、行、か、は、ソ、レ、ム、れ、と、い、う、お、話、し、が、あ、つ、た、め、け、レ、ニ、デ、います。それから、石川さんに対して、私も、是非、鉄筋等の問題について、賛成、し、レ、も、う、い、た、と、い、う、こと、石川さん、自体の、考、え、方、も、ロ、レ、は、留、心、と、か、あ、り、い、は、福、生、の、防、音、装、置、を、云、々、と、い、う、こと、は、一、言、も、ロ、レ、は、申、し、レ、お、り、ま、せ、ん、け、れ、ど、も、石川さん、と、し、レ、も、福、生、が、リ、ウ、う、ふ、う、に、よ、く、な、る、こ、と、に、は、じ、か、ら、喜、ん、で、お、り、ま、す。あの、困難、は、と、い、う、の、防、音、反、対、運、動、昭、和、の、反、対、運、動、を、し、レ、い、ら、中、を、要、す、る、に、昭、和、市、長、と、連、携、を、し、レ、あ、れ、を、最、終、的、に、調、印、す、レ、も、つ、て、い、つ、た、と、い、う、け、り、い、う、気、持、と、か、現、在、す、レ、の、金、を、組、ん、だ、の、が、二、れ、か、レ、さ、う、な、べ、さ、も、の、レ、あ、り、う、と、い、う、もの、が、現、在、す、レ、と、い、う、こと、は、何、か、二、の、点、に、道、路、が、あ、る、の、

べはなかりか、この二ともわかるわけにございます。昨年の五月のいふ
 すか藤尾さんがこのれた時もまず防音装置はまず学校をやり次は
 病院ありは保育園等をやりいくんだ、この二とはこの順序で言明した
 わけです。このが病院の方がけうふうなところか進んべある、この情
 事も同じありけう、この二になりす、この二も防衛庁のあり、この五
 張の方々が来いある、このかすぐ変わ、この二とは決、この好、この情
 ば、この二、この二は、この二は、この二は、この二は、この二は、この二は、
 の経過は、この二は、この二は、この二は、この二は、この二は、この二は、
 この二は、この二は、この二は、この二は、この二は、この二は、この二は、
 識、この二は、この二は、この二は、この二は、この二は、この二は、この二は、
 是非、この二は、この二は、この二は、この二は、この二は、この二は、この二は、
 団体、この二は、この二は、この二は、この二は、この二は、この二は、この二は、
 も、この二は、この二は、この二は、この二は、この二は、この二は、この二は、

学、あるは小学校に入つてゐるとただちに本年度のうちにオニト学校が作ら
なくならぬの事業がなくてはと特別教室をつぶさなければならぬといふ
問題が起ると同時に中學校に於ては再び百二十名の他を念めると三教室
の増築という問題があるけれども将来オニ中學校をどのように所長が
考へておられるかおもしろく加美國地開発にもつてこのではないかと思われ
ます。何年後にその校舎が作らるのかということになりますと中学生
はだんだんふえて三十名からになり千名位が適當ではな、かと思ひますが
ところが千名を収容する建物をあれこれ建設しなければならぬ今度はオニ
中學校をこちらに造ると今度はこちらをあつてしまふれば運動場も
なくなる状態になる。これに対して町長はこのように考へておられるかとオニ中
學校の建設という事は本来なら完成してなければならぬ。今でもい
ふようにただちにシフにわけしおいても公園住宅が作らる能川あり、ほ、こちらに
作る、これもやはり加美國地が作らる一歩にはなると両方が同じよう伸

びいゝるんすか現在このすすの状態を続けいゝくならはすんやんとも今
 年、来年にはオニ中学校の建設というところオニは、かな、かと思ひます。
 けりすると中学校をどんな増築しなけりならぬ段階になり公園住宅
 の方々がオニ小学校に通うオニには増築しなけりならぬけれども鉄骨
 けりオニは、木造を造るんだと時期が、くれば壊すんだと当然なりうる
 情況やある。これに對し、このよう基本的考えをもつてあるのかどうか
 ということ、それから先ほども申し上げたように選出の福田、議主が功
 りすすの、是非とも、十八年度当初にもたとえ五千万でも阻んでオニ
 をけりめりような計画をしな、と木造を造る、壊す、という段階に当然
 なりうる。けり、このこと、これは、石川さんが非常に現在オニ、苦しい立場から、鉄筋
 等の問題に賛成し、オニに關係からも、更、二校をけりめたい、功、かしく
 な、と思ひます。けり、この奥には最大の努力を、し、もういた、ことをこの奥
 強く要望いたします。

一町長(須古清蔵)又久保議員から大きな御質問でございますが、これはもう数回報告をかねてお話し申し上げたい通り基本的に国の方の方針が先程申し上げた通りです。現在はいめたところを完成レイ次にかかるといふうなことが基本的にうち出されたのか少しも来年度にまわつた至る所因りございます。けれどもはとういへぬれわれは腹をさないから十二月中にもおめらなく十回以上行ふあると思っておりますが私が行く助役が行く教育長もそれで行ふあるような状況でございますが、私も福岡議員にも執拗に申し込んだわけもございます。最後には一月中に長官にも二回ありあります。国からうち出された金を納得レイと、このよくなことをこれとどうレイも頑張りたいものにもならない段階であります。それからこと小光程も~~また~~^{屢々}申し上げました通りの線でございます。しかしまだ望みはございません。要約レイがい予算面に多少でもゆとりがござりましたので小にかかりといふうなことも数回説明を用いておろわけでございます。

すが現段階では秋までの御報告申し上げますと基本線がいろいろふうに出されてお上りのにも考えられたい、というのが現段階でございす。住宅関係はいろいろふえいゝるやうな児童という面は、この間もシホの校長と相談したんですが、なんとか本年から来年度に対処したいうだといふ点も相談してあります。教育庁の方からも内部的にはたいおると思ひます。いろいろ面には屢々いふところがあるわけはございす。この間基地に参りましたも、その帰りに山田部長が病院に廻りて観察して来たといふこと、ベトナムを所望するにしろ病院にかかるといふ感じが多分にあると思ひます。が、決していろいろことはございせん。もちろん病院という線もかなり難色を呈したのではありません。とか防音装置はしなければならぬ、という段階が出たの、べつな関係から部長が観察したというようになこと、いろいろありと思ひます。三十九年度には一部がかりといふ線が今出たと、いろいろあります。病院関係はいろいろやうな点もございす。お二

中学の建設とこの問題に對しおしえも現段階としえ千五百名の生徒がお
 るんはすからもうおりの繰りかへる面からかへかへ中学と
 是はもあらん考えなければならぬわけはすか當然の問題としえは今後増
 加する生徒数によし。二小に對処するといふ是はとりあへず分校といふ
 解も考えおります。二小は、わゆる急増対策と申しますか、この是
 は、かへかへ不足しある本年度から行なわんとするが、美田地の開
 発に平衡し行なふことがなければならぬといふふに考えをもうた
 るわけはございます。従つてし現在の中学が二千名になつても苦し
 まぬにバラバラ建いに押し込めるといふような考えはもうありません
 せん。おりの千五百名とこの数字はもう限度はございます。二小以上生徒
 をふやすようなら、すま放つておくわけには、かな、の、ございます。か、う
 是は、研究もし考えおし十分善処し、いくつもあり、先程来
 各位から商工関係の育成とこの問題に對しおし、活発な御意見が、おあり

ますが私共全面的に同意でございます。従いましえ当初予算八千万円でもつゝ先程申し上げましたようにもちろん必要に依り積極的に考へて一々処理しなければならぬといふふうに考へておりますが、一々計上したしました当初予算は是非あり、一々線々御審議戴きたこと考へております。もう一つは久保議員からの御指摘の戸建建設に對しえの起債でございますが、これはもう屢々申し上げましたように三十七年度は七百万円が入つております。従いましえ要望しえあり五千万には一千万のゆとりがありますけれども、最もの場合でも四千万は起債をもちろぬといふ線々予定しえあるわけでございます。従いましえ三十八年三十九年千六百五十万の起債を設けたこと、戸建舎に對しえの起債は、ついでといふふうに考へております。以上でございます。

一、二番（大久保一郎）会議の途中より、すか暫時休憩を願います。

すかに御異議ございませんか。

(異議なしと呼ぶ者あり)

一議長(石川信義)それでは暫時休憩をいたします。

休憩 四時十分

開会 五時〇分

一議長(石川信義)休憩前に引き続き会議を開きます。

一八番(青森真二)二億三千という膨大な予算が組まれた上に増額が五千五百何万という増額があるんですか教育を優先するということ理事者の要望があるところの教育費におよび二百五十何万という減額をいっておるんですかこれについて教育長さんの御意見を伺いたいんですが各学校とも減額されるんですかそれと分り教育が少なくなるのかどうかということでありましてなみPTAから廃品回収をいし時の財政を助ける婦人の役というふうな仕組みになすのかの件でありますかこれについて教育費ばかりお互に減額をするとい

うのが納得がいかないんですか理由はどういう理由があるかそれを説明願いたいと思います。

一教育長(橋本良五郎)ただ今青森議員さんから御指摘されました点について私も教育委員会の立場として財政の教育行政につきましては待つたはしの仕事でありますけれどもただ学校教育の内容が充実されれば特別なやはり成長する場所については今年来まして参ります。昭和三十一年の十二月初旬までに各学校からの要望書がござりまする予算資料を出しましたのでもこれに昨年度二回教育委員会を開きまして学校長から要望された予算資料について十分なる検討をいたしましたけれどもその結果校長の要望はむりからの要望であり生徒に出せということにござるんのでその時期を失がえれば不完全な施設設備によするのを通すということでは忍び難いことでありましていれぬ教育委員会側としてやはり校長の要望を十分検討して率直に予算を提示しました予算資料を財政局に提示した

これを教育だけにしぼる減額するということは、理事者としましては何か
思ひおたふことがあつたのかどうか、私は疑問でございます、いふすの言葉がた
りません、かつたの裏を理事者に御答弁を願ふ、と思ひます。

一助役(篠崎俊夫)教育費につぎましては二百五十万六千六百円、私の上へは減にな
つておりますが、実質的にはむしろ計上費といひましては、六百万、あま
りの増にあつた、功をわけ、でございます。又先程町長が申し上げましたよう
に、小中学校の防音工事を実施いたしますこととなります、五月ごろは予算
を編成しなければなりません、といひます、とあり、~~二~~二千万程度、目個員
担当が教育関係へ出さなければなりません、といひ、建築費関係が当初
予算へおけ、あります、ため、私の上へは減になつた、功をわけ、
ございます。

一主番(大久保一郎)発言する前に、先程議長の方にお願いした、いふすが、ただけ
一、其の関連問題を解決、いふの方に、移す、いふ、御指導願ふ、いふ、

すけれども、いふ、いふ、いふ、いふ、いふ、いふ、いふ、いふ、いふ、いふ、
題、小関連、いふ、いふ、いふ、いふ、いふ、いふ、いふ、いふ、いふ、いふ、
の増築、分校、いふ、いふ、いふ、いふ、いふ、いふ、いふ、いふ、いふ、いふ、
さ、いふ、いふ、いふ、いふ、いふ、いふ、いふ、いふ、いふ、いふ、いふ、
る、いふ、いふ、いふ、いふ、いふ、いふ、いふ、いふ、いふ、いふ、いふ、
く、福生町の議員としまして、発言、いふ、いふ、いふ、いふ、いふ、いふ、
理事者の方も、いふ、いふ、いふ、いふ、いふ、いふ、いふ、いふ、いふ、いふ、
公園住宅が完成、いふ、いふ、いふ、いふ、いふ、いふ、いふ、いふ、いふ、いふ、
子供、いふ、いふ、いふ、いふ、いふ、いふ、いふ、いふ、いふ、いふ、いふ、
と、考へ、いふ、いふ、いふ、いふ、いふ、いふ、いふ、いふ、いふ、いふ、
いふ、いふ、いふ、いふ、いふ、いふ、いふ、いふ、いふ、いふ、いふ、いふ、
防音工事を、いふ、いふ、いふ、いふ、いふ、いふ、いふ、いふ、いふ、いふ、
のは、五月、六月、になり、いふ、いふ、いふ、いふ、いふ、いふ、いふ、いふ、
いふ、いふ、いふ、いふ、いふ、いふ、いふ、いふ、いふ、いふ、いふ、いふ、

に於て昨年一軒は其のいう状態を脱けなければならぬ今非常にその地
区は人口が増加してあり、必ず不足を生ずる状態、公園住宅六百二
十戸の問題は相当大きな問題でございます、まず住宅が不足すると同時にその
周囲はさらに発展されることは明らかであります、その点については、
うのか、すにあつた、のか、二、三、の点を御説明願ふ、と思ひます。

一教育長(橋本兵五郎)ただ今大久保議員さんの御質問に對して、お答えいたします
六百二十戸が本年の十月ごろまでに完成するかとします、と大体の四としまし
ても二百四十人なりすかと、大分位、ふえ、と、このことにはなります、從
て、現在のオノ小學校の校舎施設だけでは、間にあ、ません、これは
非常に困、る、こと、と、先般、来、所、理、申、着、とも、話、合、ひ、ま、し、る、一、番、の、問、題
は、オノ小學校、と、ある、と、このことは、委員会の、た、か、こと、に、所、長、が、り、助、役
にも、立、ち、合、ひ、戴、き、ま、し、る、の、英、は、要、望、を、申、上、せ、ま、し、る、お、か、め、け、れ、す、か、さ
し、あ、た、り、の、問、題、と、い、ふ、こ、と、も、考、え、ら、れ、お、か、め、け、れ、す、か、さ、し、

す、から、の、四、と、い、う、と、二百四十人、ふ、え、る、と、ある、と、考、え、ま、す、か、新、設、住、宅、に、入
る、方、が、方、々、け、れ、な、か、め、け、れ、た、家、庭、的、な、考、え、も、相、当、考、え、ま、し、る、一、般、の
子、室、の、家、庭、と、違、ひ、ま、し、る、考、え、ま、し、る、と、考、え、ま、す、の、と、い、ふ、こ、と、に、は、ふ、え、な、い、だ、ら
う、と、い、う、考、え、方、も、持、つ、け、れ、ま、し、る、と、考、え、ま、す、か、私、は、今、大、久、保、さ、ん、の、申、さ、れ
る、よ、う、に、普、通、の、線、の、四、の、一、般、の、相、場、は、見、込、ま、し、る、け、れ、ば、な、ら、ぬ、と、い、う、考
え、方、は、も、ち、ろ、う、あ、り、ま、す、と、考、え、ま、す、か、今、年、も、四、小、學、校、あ、る、う、ち、八、百、人、を、越
す、學、校、は、オノ小學校、し、か、あ、り、ま、す、と、今、の、校、舎、も、ま、ち、に、怪、し、い、校
舎、を、造、つ、て、ま、す、と、考、え、ま、す、か、授、業、を、ま、な、し、な、け、れ、な、ら、ぬ、と、い、う、状、態、で、今、ま、ち、に、友
達、を、ま、な、し、な、い、状、態、で、あ、る、と、思、ひ、ま、す、か、功、り、ま、す、か、以上、と、あ、り、ま、す、

一主番(大久保一郎)今教育長の説明によつて、まず、と、もし、その、よ、う、な、方、法、に、な、つ、た
の、四、と、い、う、数、字、に、お、か、め、け、れ、ま、す、と、い、う、こ、と、は、あ、り、得、な、い、の、と、あ、り、ま、し、る、四、千、八
百、円、と、い、う、よ、う、な、最、低、の、家、賃、が、あ、る、け、れ、ま、す、か、め、け、れ、た、四、千、八、百、円、は、都、道、
住宅の三千八百円よりは、高、い、け、れ、ま、す、と、現、行、の、家、賃、と、い、ふ、は、高、い、家、賃、と、い、ふ、は、

「わけです。家が、この相当な階層の人が多く、これは、かといふに、
それ、いろいろな前提がなければならぬ。それをどのような処置をすべきかに
ついて、矢張り市長の方からいって、やはりその問題とやら、この問題の
早期実現をしなければならぬ、という、と何んぞ地元の議員は、という当然
この問題を、かういふ非常に大きな問題がある、という、この問題は
われわれとしては解決すべき問題は解決しなければならぬ、徹底的にこれ
は任天大公を用いても徹底しなかったら将来笑われるものになる。永く福
生町職員として来た地元、これも其の間にあつた、のを知りながら、
この問題を考えなければならぬ、だ、という、それが当然出ることは
明らかであります。特に熊川地区は姑小姑が相当多く、と云う、あります。
すの、これを簡単にば、あつて、というわけにはいかん問題も起さないと見て、
ますの、これを、いつか市長の考え方をまずお願して、私は福田氏議員が
あります、すの、でも、又現、いさなと、いさなければ、何か、三に隘路がある、

へは「か」と思ふますのへつれの奥は是非最大の努力をつくしてもらい、
 たいもし不可能ならはわれわれとせいもせいは如何なる問題とせいも将来
 の為により市民の為にもやらなければならぬ問題とありと考へます。
 一町長（瀬古清蔵）大久保議員からオホ小学校の建設問題にせいれい課刻な御質
 問があつたわけですが御心配戴くことは結構でございます。われわれも
 今のあつしやうれた御意見に大きな気持で昨年末までありませう。
 二所にせいれいは本年度が旧年度になつたところと、ところとに隘路はな
 いのであります。いふたびは繰り返してはよに国の方針がけり、いふやう
 にもういふこととありと思ひます。けう、この面へ最近も再三福田
 先生に、いふありますけれども恨張を合せてもしょうかな、かうせいに
 せいれいの善処方をどうかと、いふ線でございます。從つてこの間も的場牧
 長にもあつて見通しを聞い、うたわけです。大体いけるといふ見通しのため
 へ從つてせいれいもし来年度工事がかかる場合も現在の建物を西側の方に、大引

